

2021年度私立大学等経常費補助金特別補助「大学間連携等による共同研究」一般企業との共同研究 一覧

公開日：2022/9/28

部門名	連携機関	研究課題	研究内容
獣医学部	Meiji Seikaファルマ株式会社 (現・明治アニマルヘルス株式会社)	抗菌性物質による病原性因子および慢性感染症に対する効果の検証	産業動物医療で使用されている抗菌性物質を、慢性感染症を引き起こす病原微生物に作用させ、その病原因子の産生量や病原微生物数の変化を調べる。
獣医学部	スターゼン株式会社	高品質な牛体外受精由来胚の生産に関する研究	研究代表者は、牛における体外胚生産系（体外成熟・体外受精・体外胚培養）の確立に関する研究に取り組み、その成果として高度化した牛体外胚生産系の確立に成功している。一方、本申請学外機関では、牛体外生産由来胚の移植により高品質な牛を生産する事業を2017年度から展開している。しかし、本申請学外機関においては、牛体外生産胚を効率的に得るための技術集積が不足している。そこで、研究代表者および研究参加者がこれまで培ってきた技術および知見を基に共同研究を行うことにより、高品質な牛体外受精由来胚の効率的な作出を図る。併せて、高品質な牛体外受精由来胚を効率的に作出のための様々な要因について解析を行う。
獣医学部	株式会社グローバルフィールド	青森シャモロックの可食部における食品三次機能と相対価値の強化に関する研究	青森県唯一の地鶏である青森シャモロックは美味しい鶏肉として知られている。本研究では、本地鶏の消費拡大に向けて胸肉、筋胃、肝臓ならびに鶏卵の可食部に含まれる機能性の脂肪酸とペプチドの質的・量的特徴を解明し、その付加価値付けに向けた応用の可能性を見出す。
獣医学部	株式会社伊藤園	乳酸菌によるラットミルクオリゴ糖代謝機構の解析	哺乳類は乳中のオリゴ糖によって有益な腸内細菌を優先的に定着させると考えられている。本研究ではげっ歯類における宿主と腸内細菌の共生機構を解明するため、ラットミルクオリゴ糖を特異的に資化する乳酸菌のオリゴ糖代謝機構を解析する。
獣医学部	株式会社ユーグレナ	【畜産分野におけるユーグレナの利活用に関する基礎研究】 ー未利用資源としての豚尿を対象としたユーグレナの利活用に関する基礎研究ー ーリキッドフィードを用いたユーグレナの利活用に関する基礎研究ー	畜産廃棄物としての豚ふん尿を対象とし、ユーグレナを用いた浄化処理と資源化技術を開発することを最終目標に定め、本研究では既存の浄化処理施設に補助処理機能を持たせつつ未利用資源となっているリンや窒素の回収を狙いとする。また、排水処理や肥料としての利用だけではなく、リキッドフィードを用いてユーグレナを培養することで、培養の低コスト化を図るとともに飼料としての利用の可能性を検討する。
医療衛生学部	株式会社サント・ジャパン	【ラテックス・バンドを用いた運動器関連疾患の予防及び治療に関する研究】 ーラテックス・ミニループバンドを用いた静脈血栓塞栓症予防に関する研究ー ーラテックス・フロスバンドを用いたミオファシアリリースによる関節柔軟性と筋硬度の改善、疼痛緩和に関する研究ー	近年アスリートがパフォーマンスの改善のために疲労回復を重視している。しかし、これまで試合中に疲労改善でパフォーマンスの再向上を目的とする手法の研究はなされていない。下肢に弾性バンドを巻いた状態で自動他動運動を行う処置（フロッシング）によって筋滑走改善の研究を行った。その際、被験者が疲労軽減を自覚していた。この疲労軽減が実際にパフォーマンスの回復に繋がれば、試合中のパフォーマンス向上に繋がる可能性が高い。本研究はフロッシングによる疲労軽減効果が投球と短距離走のパフォーマンス向上に繋がるか検証することである。
医療系研究科	J S R 株式会社	局所硬化ゲルを用いた多孔質材料への迅速な成長因子、細胞導入による椎体間骨癒合促進法の開発	所硬化ゲルを用いた多孔質材料への迅速な成長因子、細胞導入法の確立とその椎体間骨癒合促進サイズとしての有用性を明らかにする。